# 1　講習のカリキュラム(全体）

## ■　Aコース：学生のキャリア形成支援

**テーマ1：キャリア・コンサルティングのスキル　　テーマ2：学生の円滑な移行支援のためのスキル**

**■想定される受講者：ジョブ・カード認定キャリアコンサルタント、標準レベルキャリア・コンサルタント、キャリアセンタースタッフ、キャリア形成支援業務に参画したい外部人材、平成24年度の講習に参加しなかった人　など**

| 時間 | ■テーマ | 内容 | 講義 | 演習 |
|---|---|---|---|---|
| ■モジュールA-1<br>9:30～11:00 | 大学と学生の理解 | □大学と大学生の理解、キャリア教育の理解<br>・現代日本の大学教育の状況と特色　・現代の大学生の理解<br>・キャリア教育の系譜と内容　・キャリア教育の課題 | ○ | △ |
| ■モジュールA-2<br>11:10～12:40 | 学生との面談スキル | □現代の学生とのキャリア・コンサルティングスキル<br>・基本的態度（傾聴のスキル・関係構築のスキル）<br>・問題の把握（相談者が訴えた問題とコンサルタント視点での問題） | | ○ |
| ■モジュールA-3<br>13:40～15:10 | 学生の移行支援 | □大学から社会への円滑な移行支援のために必要な知識<br>・若者の就業をめぐる状況の把握<br>・業界情報・職業情報などへのアクセス<br>・労働関連法規・社会保障制度などの理解 | ○ | △ |
| ■モジュールA-4<br>15:20～16:50<br><br>17:00 | 学生支援プログラムの実践<br>まとめ | □学生支援のスキルを向上させる具体的な実践（支援プログラム作成）<br>・業界情報・職業情報を活用した支援プログラムの立案・実施・運営<br>・労働関連法規などを理解する支援プログラムの立案・実施・運営<br>・まとめと振り返り　ネットワーク | | ○ |

## ■　Bコース：キャリア教育の実践

**テーマ3：キャリア教育授業の構成　　テーマ4：キャリア教育授業の実践**

**■想定される受講者：キャリアセンター中核人材・職員・スタッフ、キャリア・コンサルティング技能士・標準レベルキャリア・コンサルタント、 大学非常勤講師、平成24年度の講習に参加した人　など**

| 時間 | ■テーマ | 内容 | 講義 | 演習 |
|---|---|---|---|---|
| ■モジュール　B-1<br>9:30～11:00 | 大学の授業としてのキャリア教育 | □各大学のキャリア教育の「テーマ」把握と授業の組み立て<br>・学生のキャリア発達を促す「授業の仕組み」<br>・キャリア教育の位置付けと外部人材としてのキャリア・コンサルタントの役割を理解し、「授業」を組み立てる | ○ | △ |
| ■モジュール　B-2<br>11:10～12:40 | キャリア教育授業の組み立て | □ キャリア教育プログラムの作成と発表、情報の共有化<br>・事例として掲げる大学における「キャリア教育」内容の確定<br>・グループワークによる情報の深化と発表による情報の共有化 | | ○ |
| ■モジュール　B-3<br>13:40～15:10 | キャリア教育授業の実践 | □事例として掲げる大学における授業の実践（授業の組み立てと教材開発）<br>・授業の「教材」を作成する<br>・開発した「教材」に基づき、１コマの授業を組み立てる | △ | ○ |
| ■モジュール　B-4<br>15:20～16:50<br><br>17:00 | グループファシリテーションスキルまとめ | □授業運営のスキル（グループファシリテーションの実践など）<br>・意思決定ゲームなどの実践<br>・成果の発表と情報の共有<br>まとめと振り返り　　ネットワーク | | ○ |

# 1−1　講習のカリキュラム

**■　Aコース：学生のキャリア形成支援**

**テーマ1：キャリア・コンサルティングのスキル　　テーマ2：学生の円滑な移行支援のためのスキル**

**■想定される受講者：ジョブ・カード認定キャリアコンサルタント、標準レベルキャリア・コンサルタント、キャリアセンタースタッフ、キャリア形成支援業務に参画したい外部人材、平成24年度の講習に参加しなかった人　など**

| 時間 | ■テーマ | 内容 | 講義 | 演習 |
|---|---|---|---|---|
| **■モジュールA−1**<br>9:30～11:00（前半） | **大学と学生の理解** | □大学と大学生の理解、キャリア教育の理解<br>・現代日本の大学教育の状況と特色　・現代の大学生の理解<br>・キャリア教育の系譜と内容　・キャリア教育の課題 | ○ | △ |
| **■モジュールA−1**<br>11:10～12:40（後半） | **学生との面談スキル** | □現代の学生とのキャリア・コンサルティングスキル<br>・基本的態度（傾聴のスキル・関係構築のスキル）<br>・問題の把握（相談者が訴えた問題とコンサルタント視点での問題）<br>**【ロールプレイ】**（3人1組）<br>学生との面談と振り返り（評価シートを活用）<br>＝相談者役とキャリア・コンサルタントの両方を実施する<br>・相談する側には、訴えたいことと人物像を示す<br>・相談を受ける側は、学生が訴えている問題とキャリア・コンサルタントの立場からみた問題の両方を把握する<br>・1名は、観察者になり、自分がその相談を受けるキャリア・コンサルタントであれば、どのように対応するかの視点で考える<br>・面談実施後に、相互にフィードバックをして、内容を確認する<br>・観察者もキャリア・コンサルタントの視点でどのように捉えたかについて（具体的な表現や対応を根拠にして）アドバイスをする | | ○ |
| **■モジュールA−2**<br>13:40～15:10（前半） | **学生の移行支援** | □大学から社会への円滑な移行支援のために必要な知識<br>・若者の就業をめぐる状況の把握<br>・アセスメントツールを用いた自己理解・職業理解<br>・業界情報・職業情報などへのアクセス<br>・労働関連法規・社会保障制度などの理解<br>**【講座企画案の作成】**<br>示されたケースに基づき、自分が講座を実施するために、フォームに沿って組織（キャリアセンター・教務組織・形成組織など）への企画書・提案書を作成する | ○ | △ |
| **■モジュールA−2**<br>15:20～16:50（後半）<br><br>17:00 | **学生支援プログラムの実践**<br><br>**まとめ** | □学生支援のスキルを向上させる具体的な実践<br>・業界情報・職業情報を活用した支援プログラムの立案・実施・運営<br>・労働関連法規などを理解する支援プログラムの立案・実施・運営<br>**【講座企画書の作成・発表】**<br>各自の講座企画を発表した後、グループ全体の企画にまとめる<br>・講座企画提案書の完成<br>・企画の提案（メンバーが自己の企画を示す）<br>・企画の完成（ディスカッションにより、全体の企画にまとめあげる）<br>・策定された企画は、後日、HPなどで公開する<br>・まとめと振り返り　ネットワーク | | ○ |

# 1−2　講習のカリキュラム

**■　Bコース：キャリア教育の実践（プログラム開発によるキャリア教育の実践）**

**テーマ3：キャリア教育授業の構成　　テーマ4：キャリア教育授業の実践**

**■想定される受講者：キャリアセンター中核人材・職員・スタッフ、キャリア・コンサルティング技能士・標準レベルキャリア・コンサルタント、 大学非常勤講師、平成24年度の講習に参加した人　 など**

| 時間 | ■テーマ | 内容 | 講義 | 演習 |
|---|---|---|---|---|
| ■モジュール　B-1<br>9:30～11:00（前半） | 大学の授業としてのキャリア教育 | □各大学のキャリア教育の「テーマ」把握と「プログラム」<br>・大学のキャリア教育の現状と課題の把握と授業の仕組みの理解<br>・キャリア教育の「プログラム」の理解<br>【ワーク】<br>・事例として掲げる大学の「キャリア教育」の課題を探る<br>・キャリア教育のプログラム例から、教育目標などを理解する | ○ | △ |
| ■モジュール　B-1<br>11:10～12:40（後半） | キャリア教育授業の組み立て | □ 大学の状況に応じたキャリア教育プログラムの作成と発表、情報の共有化<br>・事例として掲げる大学における「キャリア教育」内容の確定<br>・グループワークによる情報の深化と発表による情報の共有化<br>【ワーク】 各大学の特色に応じたキャリア教育のプログラム（15回分）作成と発表（大学と学年を複数用意して、選択）<br>・各大学のキャリア教育の目標把握から、キャリア教育の課題を見つける<br>・課題を解決するために、1年生・2年生・3年生の半期（又は1年）の授業を組み立てたプログラムを作成し、発表する<br>・各グループの案をまとめ、グループで発表する<br>・各グループの発表を踏まえて、当会場のベスト2ないし3を選定する | | ○ |
| ■モジュール　B-2<br>13:40～15:10（前半） | キャリア教育授業の実践 | □事例として掲げる大学における授業の実践<br>・プログラムに基づく授業（1回分）を組み立てて、実践する<br>【ワーク】授業で使用する教材を作成し、1コマの授業を組み立てる<br>（テーマの例）<br>・働くことの意味などの理解<br>・若者の就業をめぐる状況の把握<br>・業界情報・職業情報などへのアクセス<br>・各業界におけるキャリア・パスの理解<br>・労働関連法規・社会保障制度などの理解 | △ | ○ |
| ■モジュール　B-2<br>15:20～16:50（後半）<br><br>17:00 | グループファシリテーションスキル<br><br>まとめ | □授業運営のスキル（グループファシリテーションの実践など）<br>・意思決定ゲームなどの実践<br>・成果の発表と情報の共有<br>【ワーク】グループワークの実践（ファシリテーション、時間管理、コメントの付け方など）<br>（テーマの例）<br>・意思決定ゲーム（キャリアに関する意思決定、価値観についての意思決定など）<br>・働くことの意味を理解させるゲーム<br>・コミュニケーションゲーム　 など<br><br>まとめと振り返り　　ネットワーク | △ | ○ |